

ふりがな 氏名	さいじょう しゅうや	都道府県	兵庫県	
	西條 秀哉			
所属/肩書	奈良教育大学ユネスコクラブ / 副代表			
関心・活動のSDGs	 11 住み続けられるまちづくりを	 14 海の豊かさを守ろう	 17 パートナーシップで目標を達成しよう	
私のESD活動	奈良教育大学ユネスコクラブにて、ESDを軸に奈良の子どもたちや世界遺産などに関わる活動をしています			
活動の概要				
<p>昨年12月2日(日)に奈良教育大学にて第2回集まれ！ESD子ども広場を開催しました。当日はオリエンテーションで子どもたちの緊張を解いた上でフィールドワークを行い、当たり前が奪われるという体験を疑似的に体感させました。その後勉強会にて災害に向けての物質的な準備と、精神的な準備をする必要性を再確認させました。そして最後に一日を通して感じたこと、学んだことを形に残すという意味でキャンドルホルダーを製作し、キャンドルナイトにてお互いの思いや考え、感謝を共有しあいました。</p> <p>子どもたちに向けては、防災意識を高め、普段から災害に向けて防災用具と心の備えをしておくことの重要性を学ばせることができました。加えて、普段当たり前に使っているもの、見ているものが本当はとても有難い、かけがえのないものであるということに気づかせることができました。</p> <p>学生たちにとっても、オリエンテーションやフィールドワークを通して教育大生として子どもと関わりとても良い機会になり、災害に対する意識づけと、日常生活のありがたみの再確認もすることができました。さらに、企画から運営まで全て学生主体で行ったので、企画を進めていく上での発言力や発想力、子どもたちの安全を預かるという責任感や健康確認と緊急時の対応についての知識を企画全体を通して育成することができました。昨年度が初の開催であったので、今年度以降も続けていこうと企画が進み始めています。</p>				
<p>・近畿ESDコンソーシアム活動実施報告書内 P214 第2回「集まれ！ESD子ども広場」 http://kinkiesd.xsrv.jp/wp-content/uploads/2019/04/048a0b85502bc3d134dca012e406b4db.pdf</p>				
私が考える教育の未来像				
<p>これからの教育で重要なことは「共生」だと思います。共生には2つあります。1つは、人間だけでなく様々な動植物との共生です。つまり、自然環境や生態系の保全を重要視する子どもを育てていきたいです。もう1つは、なかまとの共生です。地球的課題は一人では解決できません。多様な年齢、国籍、立場の人々を巻き込んで、互いのよさを認め合いながら、よさを発揮し、粘り強く取り組むことができる子どもの育成が重要だと考えています。</p>				
私の強み、活かせる経験やスキル				
<p>私の強みは誰とでも双方向的なコミュニケーションを行うことができることです。私はボランティアで、身体障害を持たれている高齢者のご夫婦のお宅に泊まり込んでお世話をしています。ご夫婦の話を聞いたり、私の活動についてお話ししたりして楽しくできています。また、ユネスコクラブでイベント企画するときにも、多様な意見が出ますが、それをいったん受け入れ、共通点や相違点を明らかにしながら話し合いを活性化させたりしています。また、先述したとおり、ゴミ問題や被災地ボランティアについては、十分に経験がありますので、経験に基づいたお話ができます。</p>				